

令和 3 年度第 2 回(公社)大気環境学会常任理事会 議事要旨

日時: 2021 年 10 月 8 日 (金) 15:00~17:00

開催形式: (株)国際文献社 4 階会議室・Zoom によるオンライン会議

出席者: 伊豆田 猛 会長、近藤 明 副会長、中井里史副会長、上野広行、大河内 博、
奥田知明、速水 洋、松田和秀、米持真一 各常任理事

審議事項

1. 前回議事録の確認

伊豆田会長から資料 1 に基づいて説明があり、承認された。

2. 第 64 回年会(2023 年開催予定)の開催方法について

この件につき、奥田常任理事から説明があり、承認された。

開催場所の制約の範囲内で実施できるように、開催形式についてはこれまでのパターンにこだわらず柔軟に対処するよう本部と協議する、という条件で開催担当を兼保直樹会員(産業技術総合研究所)に依頼することが提案され、承認された。なお、日程は 2023 年 9 月 13(水)~15 日(金) の予定である。

3. 会費未納者への対応について

中井副会長から資料 2 に基づいて説明があり、承認された。

4. 環境省との意見交換会について

この件につき、伊豆田会長から説明があり、承認された。

伊豆田会長から環境省にメールで今年の開催に関するご意見を伺うこととした。

5. 今年度の常任理事会の開催予定について

中井副会長から資料 3-1 および 3-2 に基づいて説明があり、承認された。

学会の活性化を図るために企業からの意見を取り込む方法などを含め、理事会・常任理事会のあり方を検討すべきという意見があった。また、学会事務局移転後の業務担当表と現状の整合性について確認を進めることとした。

6. 参加費徴収システムの見積について

近藤副会長から資料 4 に基づいて説明がなされ、継続審議とすることが承認された。

7. その他

特になし

【報告事項】

1. 各委員会からの報告

国際交流委員会:松田常任理事から資料 5-1 に基づいて報告がなされた。AJAE は、現時点では IF が未取得であるが、SCOPUS の Cite Score 等の指標は上昇している。今後は、著名な研究者による総説の掲載などを進めてはどうかという意見があった。

総務担当:米持常任理事から資料 5-2 に基づいて報告がなされた。近年は自治体や企業の入会が減少しているように見えることから、何らかの対策の必要性が示された。

広報委員会:大河内常任理事から報告がなされた。大気環境学会は、日本学術会議土木工学・建築学委員会の学際連携分科会環境工学連合小委員会に参加しており、例年環境工学連合講演会に学術賞・進歩賞受賞者クラスの講演者を推薦している。次年度の第 34 回の総合テーマは「環境工学の 22 世紀」で 2022/5/31(火) に開催される。進歩賞受賞者の会員に講演の内諾を得ている。

2. 入退会者の報告

伊豆田会長から資料 6 に基づいて報告がなされた。

3. その他

次回常任理事会に、63 回年会長に参加いただき、準備状況をご報告いただく。

資料 (リストのみ掲載)

資料 1. 令和 3 年度第 1 回常任理事会の議事要旨

資料 2. 会費納入状況

資料 3-1. 常任理事会・理事会開催案

資料 3-2. 大気環境学会各種業務の流れ

資料 4. 参加費徴収システム御見積

資料 5-1. 国際交流委員会からの報告

資料 5-2. 総務からの報告

資料 6. 入退会者の報告

以上